

2018年11月2日

各 位

会社名 日本ライフライン株式会社
代表者名 代表取締役社長 鈴木啓介
(コード番号 7575)
問合せ先 常務取締役管理本部長 高橋省悟
(TEL. 03-6711-5200)

業績予想の修正に関するお知らせ

最近の業績動向を踏まえ、2018年5月2日に公表した業績予想を下記の通り修正いたしましたのでお知らせいたします。

記

1. 業績予想の修正について

2019年3月期通期 連結業績予想数値の修正 (2018年4月1日～2019年3月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 当期純利益	1株当たり 当期純利益
前回発表予想(A)	百万円 49,411	百万円 11,202	百万円 11,482	百万円 7,825	円 銭 97.32
今回修正予想(B)	46,762	10,383	10,745	7,530	93.64
増減額(B-A)	△2,648	△818	△736	△295	
増減率(%)	△5.4	△7.3	△6.4	△3.8	
(ご参考)前期実績 (2018年3月期)	42,298	10,671	10,730	7,478	98.51

2019年3月期通期 個別業績予想数値の修正 (2018年4月1日～2019年3月31日)

	売上高	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
前回発表予想(A)	百万円 49,367	百万円 11,459	百万円 7,816	円 銭 97.20
今回修正予想(B)	46,731	10,880	7,678	95.49
増減額(B-A)	△2,635	△579	△137	
増減率(%)	△5.3	△5.1	△1.8	
(ご参考)前期実績 (2018年3月期)	42,236	9,528	7,652	100.80

※当社は、2018年1月1日を効力発生日として、普通株式1株につき2株の割合で株式分割を実施しております。これに伴い、前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して、1株当たり当期純利益金額を算定しております。

修正の理由

(連結業績予想)

連結業績予想につきましては、後述の個別業績予想の修正を踏まえ、当初の計画に対して売上高及び各段階利益における業績予想を下方修正するものであります。

(個別業績予想)

当第2四半期連結累計期間におきましては、EP/アブレーションや外科関連において販売が計画を上回る実績となったものの、インターベンションにおきましては本年3月に発売した薬剤溶出型冠動脈ステントの販売が計画を下回りました。その一方で、販売費及び一般管理費におきましては、広告宣伝費をはじめとする経費の支出が想定を下回ったこと等により、営業利益以下の各段階利益におきましては計画を上回りました。

第3四半期連結会計期間以降につきましては、引き続き、EP/アブレーション及び外科関連で堅調な販売が見込まれます。しかしながら、薬剤溶出型冠動脈ステントにつきましては、サイズラインナップの拡充や臨床研究の実施等の取り組みを行うものの、引き続き厳しい競争環境が予想されることや、リズムデバイスにおきまして、本年8月30日に仕入先の変更に関する発表を行ったことに伴い、現仕入先商品の販売が減少するおそれがあることから、当初の販売計画の引き下げを行いました。また販売費及び一般管理費におきましては、当初計画と概ね同じ水準の支出を見込んでおります。以上により、2018年5月2日に開示した通期の業績予想を修正いたしました。

(注)上記の業績予想につきましては、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績は様々な要因により業績予想と異なる可能性があります。

以 上